

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公開番号】特開2012-113091(P2012-113091A)

【公開日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2012-023

【出願番号】特願2010-261209(P2010-261209)

【国際特許分類】

G 02 B 6/44 (2006.01)

C 03 C 25/24 (2006.01)

【F I】

G 02 B 6/44 3 1 1

G 02 B 6/44 3 3 6

G 02 B 6/44 3 7 1

C 03 C 25/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガラス光ファイバと、

前記ガラス光ファイバを被覆する一次被覆層と、

前記一次被覆層を被覆する二次被覆層と、

前記二次被覆層を被覆する着色層とを備え、

前記二次被覆層の体積膨張係数に対する、前記二次被覆層と該二次被覆層を被覆する前記着色層とを有する積層体の体積膨張係数の比が0.98以上1.03以下であり、かつ、

前記二次被覆層の-100～150の温度範囲における動的粘弾性のガラス転移温度に対する、前記積層体のガラス転移温度の比が0.96以上1.03以下であることを特徴とする光ファイバ着色心線。

【請求項2】

請求項1に記載の光ファイバ着色心線を複数本並べ、テープ樹脂で一括化したことを特徴とする光ファイバテープ心線。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このような目的を達成するために、本発明は、光ファイバ着色心線であって、ガラス光ファイバと、前記ガラス光ファイバを被覆する一次被覆層と、前記一次被覆層を被覆する二次被覆層と、前記二次被覆層を被覆する着色層とを備え、前記二次被覆層の体積膨張係数に対する、前記二次被覆層と該二次被覆層を被覆する前記着色層とを有する積層体の体積膨張係数の比が0.98以上1.03以下であり、かつ、前記二次被覆層の-100

~ 150 の温度範囲における動的粘弹性のガラス転移温度に対する、前記積層体のガラス転移温度の比が0.96以上1.03以下であることを特徴とする。